

学生が会社チラシ、町田社長が講義 多摩大とコラボの三幸自動車

【東京】三幸自動車（町田栄一郎社長、西東京市）が今年も多摩大学（多摩市）とコラボレーション、学生らが同社の案内チラシを作成・配布したほか、15日には町田社長が多摩大学・中村その子ゼミで、同社の経営差別化戦略をテーマに特別講義を行った。町田氏は「超高齢社会の到来で高齢者、障害者が積極的に社会参加できる移動手段の確保が望まれ、誰もが利用できる公共交通機関の整備が必要だ」とし、タクシートの活用を訴えた。

タクシー事業の経営戦略については「ある程度の経験則、それに理論と感情の調和が必要。市場は残念ながら右肩下がりだが、当社は総合生活移動産業をベースとしたコミュニティ&ソーシャルビジネスに取り組む」、「『街の相談役』『快適空間』をキーワードに環境変化に柔軟に対応し、半歩先のサービスを提供していく」として、「差別化策として顧客、取引先、地域に（サービスなど）内容、情報発信手段を重要視している」と強調した。

ゼミ学生による会社案内チラシは、『街の相談』の三幸自動車のコンセプトに基づいて作成され、350枚を配布済み。さらに地域との連携にも積極的に取り組み、4月26日、西東京市内で行われた映画「うまれる」の自主上映会への協賛や、5月17日に田無神社境内で開かれた「やおよろずのさんほ市」にも地元企業などと後援した。（石貝）